

施策番号	2503		
施策名	都市活動を支える社会資本の維持管理		
概要	道路や橋りょうなど市民生活に不可欠な社会資本の維持管理について、日々の点検とともに、これまでの「壊れてから直す」対症療法的な維持管理から、「壊れる前に対策する」予防保全型の管理手法に移行し、計画的かつ効率的に推進する。		
担当局・部室	建設局・土木管理部	共管局・部室	
上位政策	25 道と緑		
施策に関係する 主な分野別計画等	トンネル長寿命化修繕計画, 排水機場長寿命化修繕計画, 京都市河川維持保全基本計画, 道路付属施設長寿命化修繕計画, 道路のり面維持保全計画, 京都市橋りょう長寿命化修繕計画, いのちを守る 橋りょう健全化プログラム		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	舗装アセットマネジメントにおける補修率(%)	d	d	16.8	31.1	57.1	54.5%	c	1.00
2	橋りょうにおける5年に1回の定期点検率(%)	-	-	-	85.8	85.8	100.0%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃を実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言う うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思 わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	市内の道路や橋が、市民の財産として、よい状態で管理されている。	c	c	18	154	167	53	34	426
				4.2%	36.2%	39.2%	12.4%	8.0%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	b	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 舗装や橋りょうのアセットマネジメントについては、市民がその成果を直接実感しにくいいため、客観指標評価を重視する。						29年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						28年度	B
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・厳しい財政状況の中、維持補修費を増額しているものの、補修が必要な箇所全てに対応できていないため、市民の実感としては昨年度に引き続きc評価と考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	ICTを活用した市民協働による公共土木施設の維持管理	4,283	4,308	かなり良い	建設局
2	橋りょうの点検	260,172	207,211	—	建設局
3	通路橋適正化事業	57,311	59,391	—	建設局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・今後も、道路の舗装アセットマネジメントや橋りょうのアセットマネジメントを積極的に取り入れ、予防保全型の維持管理を行うことにより、計画的・効率的な社会資本の維持管理を行う。
- ・道路の舗装アセットマネジメントについては、引き続き、点検による客観指標を基に補修を実施し、目標達成に向け取組を進めていく。
- ・橋りょうのアセットマネジメントについては、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」(第2期)に基づき、引き続き取組を推進するとともに、5年に1度の定期点検を確実に実施することで、現状把握、異常及び損傷の早期発見を図り、良好な状態に保全していく。
- ・また、関係機関と連携しながら、生活道路の安全確保に向けた取組を進めていく。

施策名	2503	都市活動を支える社会資本の維持管理										
指標名	舗装アセットマネジメントにおける補修率(%)											
担当課	土木管理課		連絡先	2 2 2 - 3 5 6 8								
1 指標の説明												
道路の計画的、効率的な維持管理に必要となる点検を実施し、損傷が大きく補修が必要な道路における補修割合												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
道路の維持管理にアセットマネジメントを導入し、計画的に修繕を行っているかの指標			算出方法：補修済延長÷要補修箇所の道路測線延長(H25年度末)×100 出典：事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度						
	28年度	29年度		数値	根拠							
数値	16.8	31.1	14.3ポイント増	57.1	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために当該年度に達成すべき数値	54.5%						
	全国順位	中長期目標			備考							
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値		100	32年度	31.1%			完全補修を目指す。					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
単年度の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			目標年次までに完全実施するために必要な進捗割合(%)を単年度目標とし、財政状況の寄与度が比較的高いことから、80%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>d</td><td>d</td><td>c</td></tr></table>		28	29	30	d	d	c
28	29	30										
d	d	c										

指標名	橋りょうにおける5年に1回の定期点検率(%)											
担当課	橋りょう健全推進課		連絡先	2 2 2 - 3 5 6 1								
1 指標の説明												
橋りょうの計画的、効率的な維持管理に必要となる5年に1回の定期点検を実施した橋りょうの割合												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
橋りょうの維持管理にアセットマネジメントを導入し、計画的に修繕を行っていくための指標			算出方法：定期点検済橋りょう数÷管理橋りょう数×100 出典：事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度						
	28年度	29年度		数値	根拠							
数値	-	85.8	-	85.8	中長期目標までの残年数内に目標を達成するために必要な当該年度の進捗割合	100.0%						
	全国順位	中長期目標			備考							
		数値	目標年次	達成度			根拠					
数値		100%	30年度	85.8%			「京都市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋長2m以上の本市が管理する橋りょうにおける5年(H26～H30)に1回の定期点検実施					
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			・目標年次までに本市の管理橋りょう全ての定期点検を実施するために必要な進捗割合。 ・財政状況の寄与度が比較的高いことから、最新数値を目標値と比較して、達成度が80%以上の場合をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table><tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>a</td></tr></table>		28	29	30	-	-	a
28	29	30										
-	-	a										